

TPDS NEWS



※ TPDS = Tokyo Plastic Dental Society = (一社) 東京形成歯科研究会

Vol.108

配信日：2026 年 8 月 8 日

配信元：(一社) 東京形成歯科研究会 事務局

「医療タイムス」 記事紹介

“東南アジア最高峰のキナバル山”

相談役・理事 北村 豊 先生

当会の相談役・理事 北村豊先生からご提供いただいた記事をご紹介します。

記事の内容につきましては、別紙※の通りでございます。

※ 別紙 出展元：「医療タイムス」2026 年 8 月 1 日 発行

事務局より

会員の先生方から情報提供いただければ、その都度、施設長に相談して、「TPDS NEWS」にて配信させていただきます(施設長より)。従来は、歯科・医科に関する内容を配信しておりましたが、北村先生のご指導もあり、「TPDS NEWS」を会員・関係各位の交流の場(ツール)として活用していただくことを目的に、配信する内容(企画)の幅を拡大することと致しました。お気軽に「TPDS NEWS」の材料(ネタ)を事務局まで(下記)ご提供いただけると幸いです。ご検討の程、何卒宜しくお願い申し上げます。※反社会的内容等の場合は、配信を断念する場合もございます。予めご了承ください。

〒114-0002 東京都北区王子 2-26-2 ウェルネスオクデラビルズ 3F

一般社団法人東京形成歯科研究会 事務局

Email: info@tpdimplant.com

TEL:03-3919-5111/FAX:03-3919-5114

随想

東南アジア最高峰の
キナバル山— 恐竜繁栄の白亜紀から
存続するジャングル —

北村 豊

キナバル山は、ボルネオ島北部のマレーシア領・サバ州にある東南アジア最高峰の標高4095・2mの山である。

キナバル山を中心に広がるこの国立公園は、2000年にマレーシア初の世界自然遺産に登録された。この

広大な面積を誇っている。

この山は、地質学的には「世界で最も若い山」の一つとも表現されるのは、地球の長い歴史から見ると、たった1000万年前にマグマがそれまでから存在していた古い堆積岩を貫いて隆起して、噴火することなく中心部の主たる岩石の花崗閃緑岩がゆつくりと冷えて形成された山とされている。

山麓を中心として広がるこの「世界最古のジャングル」は、世界中にあつたほとんどのジャングルが氷河期に

滅亡してしまったにもかかわらず、『恐竜が闊歩していた時代』の1億3000万〜1億4000万年前からほぼ赤道直下の熱帯であったことを幸いに、氷河期の影響を受けずにほとんどその当時のままの姿で生き続けることができた極めて貴重な場所であることが理解していただけたことと思う。

恐竜は、写真に示した巨大なシダが10〜20m以上の高さで繁る深い森からひよつこりと出現する幻視にも囚われそうである。

この木のようなシダ

は、「木生シダ」と呼ばれるグループに属し、植物学では、木本ではなく草本（草の仲間）に分類される植物で、樹木状になるヘゴなどのシダ植物は総称してこのように呼ばれる。

この森は、古代から存続し続けてきたことも動植物の種の多様性に繋がっているが、もう1つ「新しく出来たキナバル山」の地質学的な特徴も種の多様性に貢献していたのである。

山の大部分は堆積岩からなるが、「蛇紋岩」も分布する。この蛇紋岩は、樹木の生長を

抑制する特殊な化学組成をもつので、その岩の上には小さい樹木が密生した特徴的な森林ができる。

その特殊な成分とは、マグネシウムやニッケルなどの重金属イオンを多く含み、さらにカルシウムとマグネシウムの比率（Ca/Mg比）が植物の生育に適さない毒性をもつ地帯では、長年かかってその場所に適応した「珍しい固有種の分化」に役立っていることになる。

余談だが、蛇紋岩には重量比で数%以下のアスベスト（石綿）が

含有されていることが多いので粉砕したり、この岩石を加工する際に飛び散る粉塵を吸収しないよう注意せねばならない。

「蛇紋岩」ゆえに「蛇」

足」の説明になってしまったことをお許し願いたい。
（上高井郡小布施町医療法人信州口腔外科インプラントセンター所長）



キナバル山中腹の雲霧林に生える巨大な木生シダと巨大なウツボカズラ（撮影：2025年1月20日12時31分 北村豊）